

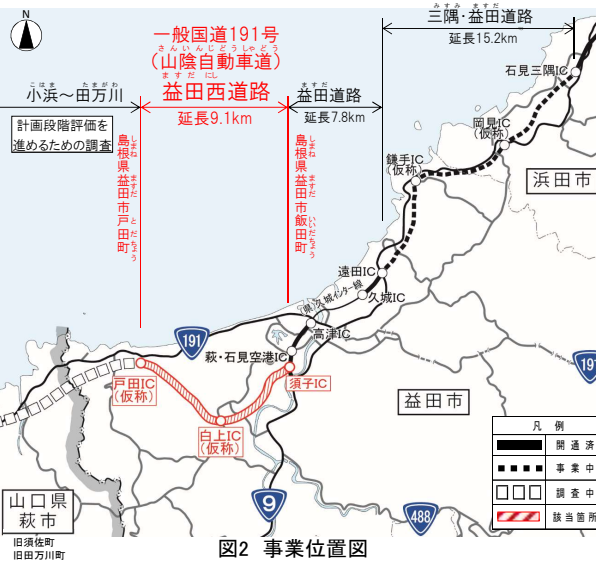
# 一般国道191号(山陰自動車道)益田西道路に係る新規事業採択時評価

- ・脆弱な道路の課題箇所を回避し、災害や安全性に対し信頼性の高いネットワークを確保
- ・物流ネットワークの確保による輸送時間の短縮により、物流効率化を支援
- ・第二次救急医療施設への速達性・アクセス性の向上により救急搬送などの医療サービスが向上

## 1. 事業概要

- ・起終点: 島根県益田市戸田町 ~ 島根県益田市飯田町
- ・延長等: 9.1km (第1種第3級、2車線、80km/h)
- ・全体事業費: 約330億円
- ・計画交通量: 約8,500 ~ 約13,200台/日

乗用車	小型貨物	普通貨物
約5,000台/日	約3,200台/日	約5,000台/日



## 2. 課題

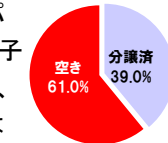
### ①災害及び安全性に対して脆弱な道路ネットワーク

- ・国道191号(高津IC交差点~戸田町)は、高津川洪水浸水想定区域、防災点検要対策箇所、飛砂・堆砂区間が存在。(写真1、写真2、図3)
- ・人家連担区間や交差点部などにおいて、死傷事故率が全国平均を上回る箇所が存在。(図3)



### ②物流効率化に不可欠な道路ネットワーク

- ・重要港湾である、浜田港の合板生産拠点へは、九州より定期的な木材の運搬が行われているが、材料の安定供給に課題(図4)
- ・益田市の主要な産業拠点である石見臨空ファクトリーパークから、東西方向への電子部品等の物流ルートとなる、国道191号や市道雁丁線は安定した搬送に課題。(図4)



### ③第二次救急医療施設へのアクセス

- ・救急医療施設のない、萩市東部の旧須佐町、旧田方川町では、重篤患者の緊急搬送を益田赤十字病院に依存しているが、交通課題のある国道191号を通過せざるを得ない状況。(図6)



## 3. 整備効果

### 効果1 災害に対し信頼性の高い道路ネットワークの確保 [◎]

- ・現道の課題箇所を回避し、災害に対し信頼性の高い道路ネットワークを確保。
- 【災害区間の回避】 高津川洪水浸水想定区域 約1,000m、飛砂・滞砂区間 約1,000m、防災点検要対策箇所1箇所の回避

### 効果2 物流ネットワークの確保 [◎]

- ・工業団地へのアクセスが向上することで新たな企業の進出や既存企業の活性化を支援。
- 【高津IC交差点~石見臨空ファクトリーパークにおける所要時間】 現況13分→整備後7分(約6分短縮)
- 【田方川総合支所~石見臨空ファクトリーパークにおける所要時間】 現況19分→整備後16分(約3分短縮)
- ※H27全国道路・街路交通情勢調査混雑時旅行速度より。 現況: 現道利用ルート 整備後: 益田西道路利用ルート (対象区間は設計速度80kmで算出)

### 効果3 救急医療サービスの向上 [◎]

- ・対象区間の整備により交通混雑区間が回避され、救急搬送の速達性が向上。

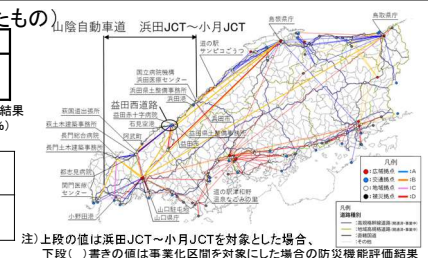
### ■費用便益分析結果(貨幣換算可能な効果のみを金銭化し、費用と比較したもの)

B/C	EIRR※1	総費用	総便益
2.0 (0.6)	11.6% (1.4%)	972億円※2 (251億円※2)	1965億円※2 (156億円※2)

注) 上段の値は浜田JCT~小月JCTを対象とした場合、下段( )書きの値は事業化区間を対象にした場合の費用便益分析結果  
 ※1: EIRR: 経済的內部収益率 ※2: 基準年(令和元年)における現在価値を記載(現在価値算出のための社会的割引率: 4%)

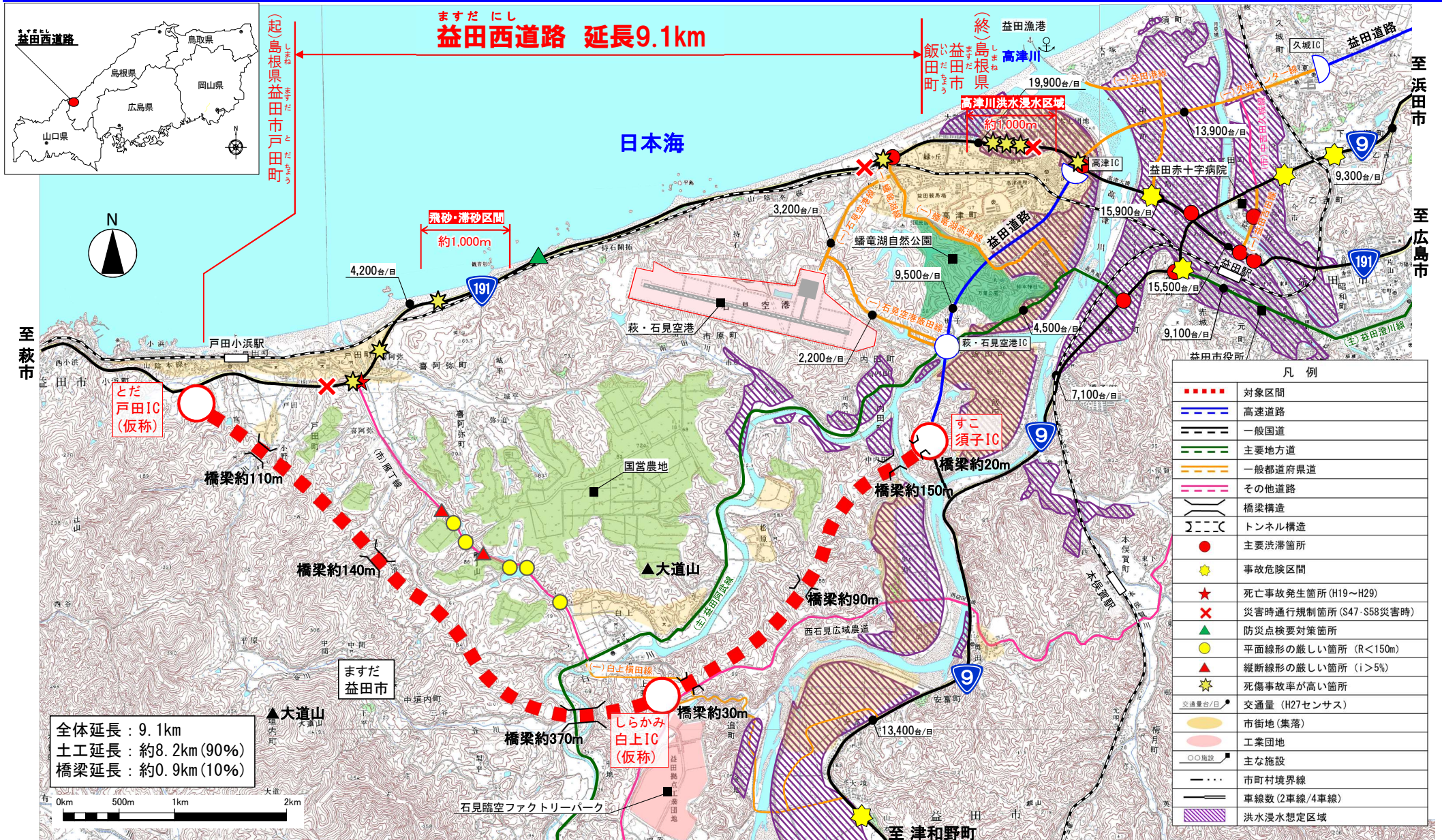
### ■道路ネットワークの防災機能評価結果

改善ペア数	脆弱度		累積脆弱度の変化量	改善度		評価
	整備前	整備後		通常時	災害時	
23 (2)	0.92[C] (0.86[C])	0.37[C] (0.86[C])	▲216.82 (▲7.70)	0.09 (0.03)	0.70 (0.00)	○





# 一般国道191号(山陰自動車道)益田西道路に係る新規事業採択時評価



凡例

■■■■	対象区間
——	高速道路
——	一般国道
——	主要地方道
——	一般都道府県道
——	その他道路
——	橋梁構造
——	トンネル構造
●	主要渋滞箇所
★	事故危険区間
★	死亡事故発生箇所 (H19~H29)
×	災害時通行規制箇所 (S47-S58災害時)
▲	防災点検要対策箇所
●	平面線形の厳しい箇所 (R<150m)
▲	縦断線形の厳しい箇所 (i>5%)
★	死傷事故率が高い箇所
●	交通量(台/日)
●	市街地(集落)
●	工業団地
○	主な施設
---	市町村境界線
——	車線数(2車線/4車線)
■■■■	洪水浸水想定区域

全体延長：9.1km  
 土工延長：約8.2km (90%)  
 橋梁延長：約0.9km (10%)

